

頸城区 47号 2024・10 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 530-2311 FAX 530-2001

第6期の頸城区地域協議会がスタート！ 新委員からのご挨拶

「頸城区を元気にする地域協議会を目指して」 会長 上村 閏一

「住みたい、訪れたい」まち頸城区にするため、各団体の皆さんと意見交換をしながら問題解決に向けて進めていければと思っています。また、新たな委員を交えて活発な意見交換を行い、未来につながる地域独自の予算事業の実施を目指します。これからも地域の発展に向け、地域協議会委員として発信をしていく所存です。地域の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

「地域の活性化に向けて」 副会長 新保 哲男

地域協議会では、まちづくりのテーマとして定めた「住みたい、訪れたい」まち頸城区を将来像として、地域で抱える課題解決を皆様と進め、地域の意見として市長へ届ける役割を果たしたいと思います。
また、地域を元気にするための地域独自の予算事業では、各団体間の連携を図り、取組に積極的に参加することで頸城区の活性化に少しでも貢献できればと思います。

「頸城区の住民として地域の課題に気づき、 向き合い、地域活性の力になりたい」 安樂 大

8年程前にも、他区で地域協議会委員を務めました。その頃から、地域を活性化するための若者の担い手不足等を感じ活動を続けてきました。
課題は散見していますが、何より、私が仕事としている福祉の分野を地域とつなげ、地域の皆様の声を聞きながら、どのように上越の福祉を活性化させていくかを考え取り組んでまいります。

「未来につなぐ」 太田 和枝

頸城で生まれ育ち頸城区が大好きです。いつでも帰ってきたい頸城区・ずっと居たい頸城区であってほしい。皆がそう思える地域・環境づくりに関われることができ嬉しく思います。
皆様の意見や声を聞きながら課題解決に向けて取り組み、より良い頸城区を未来につなげることができるといいなと考えています。

「地域のために何かを」 小川 泉

1期4年間、先輩方と力を合わせ恐る恐る務めてきました。2期目としては、地域のために何ができるか考えていきたいと思っています。
この地域には、大池・小池といろいろなお宝そして古い館などがあります。私自身も頸城区の歴史を見つめ直す良い機会になると思いました。
頸城区の活性化に向け皆様と共に今一度委員を務めたいと思っています。よろしくお願いします。

「頸城区を自分事として」 上村 淳

地域協議会委員に就任以来、頸城区の活性化を目指した様々な組織や外郭団体による前向きで地道なまちづくり活動が行われていることに気づかされました。
「頸城区の魅力を多くの方々に理解していただくには？」「課題解決に必要なことは？」—自分事として考え、行動できる委員でありたいと思います。

「頸城区の未来に何が必要か」 滝本 篤透

早いもので3期目をさせていただくこととなりました。
地域独自の予算事業の本格始動を機に各区がどれだけ将来を見据えているかが見えてきます。継承・継続とあわせて、人口減少問題にシフトしていくことが急務。
引き続き多くの方々と関わりを持ち、積極的に活動してまいります。

「地域協議会委員として」 竹田 由紀子

この度、お声がけいただき、地域協議会委員として参加させていただくことになりました。
まだまだ手探り状態ですが、自分の住んでいる地域を知り、良いところは更に活性化させていきたいと思っています。また、新たな魅力も発掘することによって、頸城区が発展するように、そして皆様が安全・安心で住みやすい地域を実現するために、少しでも貢献できるよう頑張っていきます。

「魅力あるまちづくりを目指して」 西巻 肇

3期目の任期になります。

「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向けて、新たに地域協議会委員になられた6名を含む委員の方々や多くの団体、町内会や地域の方々と議論し、魅力あるまちづくりに向け努力してまいります。

多くの方々のご理解とご協力をお願いいたします。

「他人事ではなく自分事として」 橋本 春美

「不易流行」とはいつまでも変わらない本質的なものを大切にしつつ、新しい変化も取り入れること。これからの地域づくりにはその不易流行が必要だと感じます。

頸城区の歴史を知り活かしながら、上越一多文化共生を目指す地域として内にも外にも目を向け、地域行事も様々な課題も自分事の意識を持ち、取り組んでまいります。

「地域協議会委員3期目を迎えて」 船木 貴幸

新市長誕生で激動の前期だった。そもそも旧態依然の地域自治区制度のままで、現状に沿った見直しが必要とされていた。今年度それがようやく進められることになる。

今後、行政と地域協議会、活動団体等との意見交換を経て、新しい地域自治区制度が作られる。このタイミングで、地域協議会の一員としてより良い制度となるよう意見を述べていこうと思う。

「頸城区の未来を見つめて」 望月 博

合併前後から住民自身が育ててきた組織が頸城区内にある。しかし、人口減少や高齢化により組織運営が疲弊し、先行きへの懸念が増している。各区に設定された行政組織である地域協議会は、自治区の中心として市と住民組織の架け橋となり指導力を発揮する時期に来ている。

こうした考えの基に地域協議会委員として活動していこうと考えている。

「地域協議会委員として」 吉越 真紀

地域協議会委員となり、改めて頸城区のことを考えることが多くなりました。そう思っていると、同じ思いでいる方と出会うものです。この出会いが広がれば、皆の力で活力ある頸城区に、また皆様の心も身体も豊かになることと思います。そして、私は頸城に生まれ育ち、今があることに感謝しています。これからは、少しでも多くの意見を聞き、地域活性化を実現させていきたいです。

「ふるさとへの恩返し」 渡辺 繁雄

3年近く前に生まれ故郷である頸城区に40年振りに戻ってきました。頸城区の現状として、人口やバスの運行本数は減り、対して高齢者世帯、空き家及び耕作放棄地は増えています。このような中でも、頸城区ではいろいろな催しを行っていることを知り驚きました。

地域協議会を通して、魅力ある地域づくりを行い、育った故郷に恩返ししたいと思います。

地域協議会のういき

■5月13日 第1回地域協議会

- ・地域協議会の運営について（協議）
- ・上越市地区公共交通懇話会委員及び頸城区地域福祉懇談会委員の選出について（協議）
- ・地域協議会委員の委員証及び名刺について（報告）
- ・令和6年度頸城区総合事務所の組織体制について（報告）
- ・令和6年度頸城区における主な事業について（報告）
- ・令和6年度地域独自の予算事業について（報告）
- ・農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」の策定について（報告）

■6月8日 アドバイザー研修（頸城区内巡検）

- ・内容…頸城区の特長や成り立ちなど
- ・講師…西山義則氏

（NPO法人 くびきのお宝のこす会 会長）

■6月19日 第2回地域協議会

- ・地域独自の予算事業の進捗状況及び担当者について（協議）
- ・地域協議会における令和6年度の新たな取組について（報告）

- ・地域独自の予算事業の意見交換会について（報告）

■7月17日 第3回地域協議会

- ・「地域独自の予算事業」意見交換会について（自主的な審議）
- ・「地域独自の予算事業」各事業における代表者について（自主的な審議）

- ・今後の地域協議会のスケジュールについて（報告）
- ・地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて（報告）

■7月23日 地域独自の予算事業意見交換会

- ・令和7年度に実施を予定している地域独自の予算事業について（意見交換）

■8月21日 第4回地域協議会

- ・地域独自の予算事業の意見交換会の振り返り（自主的な審議）
- ・地域協議会正副会長意見交換会について（報告）

令和6年度 地域独自の予算事業の活動内容

歌おう踊ろう！くびき国際交流フェスタ



7月に「歌おう踊ろう！くびき国際交流フェスタ」が開催され、多くの来場者で賑わいを見せました。

多文化共生を目指す頸城区。国際交流イベントの「目標」は、住民が楽しく交流し顔見知りになること。そして、目標の先にある「目的」は、災害等の緊急時には国籍や言語を問わず全ての住民が安全に確実に避難できることです。

お互いが「外国人」である私達には、言葉

や生活習慣の違いなど大きな壁があります。しかし、交流を通しお互いの理解が深まり、壁が低くなることで、万が一、災害が発生し避難する際に声を掛け合うことができると思います。

「目標」の先の「目的」を再認識し、皆様と共通の認識を持ち、この事業をより良いものにしていければと思います。

地域協議会委員

橋本 春美

花の苗 里親育成事業

頸城区の地域独自の予算事業では、頸城区を花いっぱいにする活動があります。6月には、坂口記念館で挿し木の講習会が開催されました。

さて、今後の活動として、現在どの町内も高齢の方が増加し、除草作業が大変な悩みとなっており、雑草に負けない花の苗を育て、学校、町内会などに無料で配布を進めています。今回配布する花々は、市道頸城線沿線の花壇において元気に茂っている姿を見ていただけです。ヒメイワダレソウがぐんぐんと成長しグラウンドカバーとしての役割を果たしています。周りの雑草にも負けず、暑さにも負けない強い花たちです。

ぜひ皆様と、花いっぱい活動で頸城区を元気にしていきたいと思います。

地域協議会委員

吉越 真紀



地域独自の予算事業とは・・・それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るために、地域の実情にあった取組を更に実現していくことを目的とした上越市の事業です。

頸城区にお住まいの方であればくびき野レールパークは一度は目にしたことがあると思います。毎年5月5日と6月から10月まで（8月を除く）の第3日曜日に一般公開を行っています。公開では市内外から多数の親子連れや鉄道ファンが訪れています。

地盤で水はけが良くないため、レールを固定する枕木が傷みやすく、毎年市からの補助金を利用し交換を行っています。この作業は市外からの若手ファンの協力によって行われ、車両運行の安全が保たれています。

近年は地元保存会員の高齢化が進み、市外の若手の協力が必要不可欠な状態で、このままでは車両が頸城区から移転されてしまうことも考えられます。ぜひ地元の方からの協力をお願いいたします。

地域協議会委員
船木 貴幸



地域独自の予算事業意見交換会を開催しました

「頸城の「ヒト・モノ・コト」に情熱をかける方々」

編集後記

頸城区内の約15の活動団体の代表者や関係者が、①大池・小池を活かした観光 ②くびきのお宝（レールパーク、館）活用 ③季節の花が咲く通学路、ポケットパーク ④外国人市民の交流とファーマーズマーケット ⑤情報発信、子どもの楽しむ場（今年度から新規）の5つの事業の柱についてグループワークを行いました。

意見交換後の発表では、日頃からの地道な取組と熱意により着実な成果をあげている一方、人材や予算の面で支援を必要としていること、活動に対する地域住民の関心が高まらず参画や協働に結び付けるのに苦心していることなどが、ひしひしと伝わってきます。こうした取組の内実が地域住民の皆さんにも理解されとともに、「住みたい、訪れたい」まちづくりに向け、多くの方が「自分事」として受け止めていただけるよう、地域協議会委員として力になれればと思います。

（地域協議会委員
上村 淳）



令和6年4月に地域協議会委員の改選があり、新体制でスタートしました。協議がスムーズに進行するよう頑張っています。

初めに今年度の地域独自の予算事業計画の説明を受け、5本の柱である①大池・小池を活かした観光 ②くびきのお宝（レールパーク、館）活用 ③季節の花が咲く通学路、ポケットパーク ④外国人市民の交流とファーマーズマーケット ⑤情報発信、子どもの楽しむ場について、地域協議会委員の担当事業を決めました。

既に令和6年度の事業も行われておりますが、7月には令和7年度の地域独自の予算事業の提案を予定している各団体等との意見交換を通して、団体が目指す方向性を知るとともに、頸城区の地域活性化の方向性である「住みたい、訪れたい」まち頸城区に結び付くような活発な意見交換を行いました。

今後も委員一丸となつて取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願います。

（地域協議会委員
小川 泉）

